

ブセレリン点鼻液 0.15% 「F」

【この薬は？】

販売名	ブセレリン点鼻液 0.15% 「F」 BUSERELIN nasal solution
一般名	ブセレリン酢酸塩 buserelin acetate
含有量 (1 瓶 10mL 中)	ブセレリン酢酸塩 15.75mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、GnRH 誘導体制剤と呼ばれるグループに属する点鼻薬です。
- ・この薬は、全胚凍結を予定する人に投与されます。
- ・この薬は、鼻腔内に噴霧することで性ホルモン（黄体化ホルモン）の分泌を一過性に亢進して、34～36 時間後の採卵に向けて卵胞の成熟を促します。
- ・この薬は、性ホルモン（黄体化ホルモン）の分泌を一過性に亢進させたのち抑制して、採卵前に排卵しないようにします。
- ・次の目的に処方されます。

○生殖補助医療における卵胞成熟

○生殖補助医療における早発排卵の防止

- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると、本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・診断のつかない異常な性器出血がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・授乳期の人
 - ・過去にブセレリン点鼻液 0.15%「F」に含まれる成分や他の GnRH 誘導体制剤（リュープロレリン酢酸塩、酢酸ナファレリン、ゴセレリン酢酸塩）で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・うつ病またはうつ状態の人、ならびに過去にうつ病またはうつ状態になったことがある人
 - ・粘膜下筋腫のある人
 - ・高血圧症の人
 - ・糖尿病の人
 - ・脳血管障害のある人または過去に脳血管障害になったことがある人
 - ・冠動脈疾患のある人または過去に冠動脈疾患になったことがある人
 - ・肝臓に障害のある人
- この薬の使用前に、医師から予想される危険性や注意すべき症状について、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 〔生殖補助医療における卵胞成熟の場合〕
- この薬の使用前に、血清エストラジオール濃度や超音波検査により十分な卵胞の発育を確認されます。
- 〔生殖補助医療における早発排卵の防止の場合〕
- 使い始める前に患者さんおよびパートナーの方の検査が行われます。その結果、甲状腺機能低下、副腎機能低下、高プロラクチン血症、下垂体または視床下部腫瘍などの病気が見つかった場合、病気の治療が優先されます。

【この薬の使い方は？】

この薬は、鼻腔内に使用する点鼻液です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

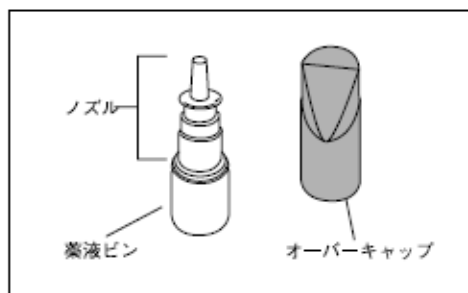
通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

生殖補助医療における卵胞成熟を目的に使用する場合	生殖補助医療における早期排卵の防止を目的に使用する場合
左右の鼻腔内に各々1噴霧投与1回投与とし、通常、採卵の34～36時間前に2回使用します。 必要に応じて1回～4回の範囲で調整することがあります。	通常、左右の鼻腔内に各々1噴霧を1日2～3回投与します。 必要に応じて4回まで調整することがあります。

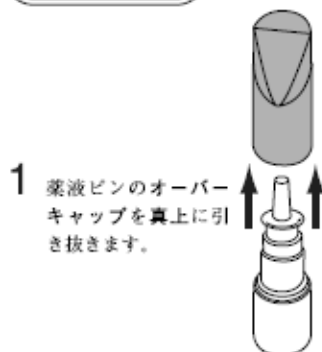
●どのように使用するか？

- ・使用前に鼻をかみ、鼻腔のとおりを良くしてください。
- ・頭を少し前にかたむけ、鼻腔に噴霧器を奥まで垂直にいれます。

- ・鼻から息を吸いこみながら、鼻腔内に一気に噴霧してください。
- ・同じ要領で、もう片方の鼻腔にも噴霧してください。
- ・噴霧後は、薬液が鼻の奥までひろがるように、頭を後ろにかたむけ、鼻で静かに息をしてください。
- ・使用後は、ノズルの先端をティッシュペーパーなどできれいにふき、オーバーキャップをしめて保管してください。



使い初めに



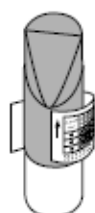
- 1 薬液ビンのオーバーキャップを真上に引き抜きます。



ブライミング操作

止まるまで強く押し込む

上図のように薬液ビンを指でささえ、薬液が霧状に出るまで強く数回押してください。
(初回使用時には、この操作を必ず行ってください。2回目以降は不要です。)



- 3 添付の使用チェック用シールを貼ります。

使用方法

- ① 使用前に鼻をかみ、鼻腔のとおりを良くしてください。



- ② 頭を少し前にかたむけ、鼻腔に噴霧器を奥まで垂直にいれます。鼻から息を吸い込みながら、鼻腔内に一気に噴霧してください。同じ要領で、もう片方の鼻腔にも噴霧して下さい。

噴霧時

ノズルの可動部が止まるまで、一気に押し込んでください。

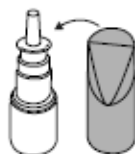
(注意) 上を向いて噴霧しないでください。容器を傾けるとうまく噴霧されません。また、液漏れの原因にもなります。



- ③ 噴霧後は、薬液が鼻の奥までひろがるように、頭を後ろにかたむけ、鼻で静かに息をしてください。



- ◎ 噴霧後、薬液が鼻から流れ出した場合は、鼻をつまむ感じで軽くふきとってください。鼻はかまないでください。
- ◎ 薬液がのどに流れ込んだ場合、苦い味がしますが、飲み込んでも問題ありません。



- ④ 使用後は、ノズルの先端をティッシュペーパーなどできれいにふき、オーバーキャップをしめて保管してください。

- ⑤ 使用後は必ずシールにチェックして、使い忘れないようにしましょう。



注意

使用の際、ノズルがぬけないようにご注意ください。

◎ オーバーキャップは真上に引き抜いてください。

薬液が噴霧されない場合は…

◎ 「ブライミング操作」をくり返してください。

◎ ノズルに針などを刺すことは、絶対に避けてください。

オーバーキャップや薬液ビンを取りはずした状態で、保管しないでください。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないようにしてください。
使い忘れたら、医師または薬剤師に相談してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。
- ・授乳期の人はこの薬を使用することはできません。
- ・本剤の投与により卵巣過敏刺激症候群があらわれることがあります。自覚症状（下腹部の痛み、お腹が張る、吐き気、腰痛等）や急激な体重増加が認められた場合にはすぐに医師等に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、意識の消失、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる
アナフィラキシー	ふらつき、喉のかゆみ、動悸（どうき）、息苦しい、全身のかゆみ、じんま疹
うつ症状 うつしょうじょう	体がだるい、不眠、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、食欲不振
脱毛 だつもう	脱毛
狭心症 きょうしんしょう	冷汗が出る、あごの痛み、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ、左腕の痛み
心筋梗塞 しんきんこうそく	冷汗が出る、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい
脳梗塞 のうこうそく	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、突然片側の手足が動かしくくなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	出血が止まりにくい、鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる
白血球減少 はっけっきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
不正出血 ふせいしゅっけつ	月経時以外の性器からの出血

重大な副作用	主な自覚症状
卵巣のう胞破裂 らんそうのうほうはれつ	下腹部の痛み
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	体がかゆくなる、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
糖尿病の発症または増悪 とうにようびょうのはっしょうまたはぞうあく	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がだるい、ふらつき、冷汗が出る、体重が減る、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、体がかゆくなる、疲れやすい、力が入らない
頭部	めまい、突然のめまい、突然の頭痛、突然の意識の低下、突然の意識の消失、意識の消失、脱毛、気分がゆううつになる、思考力の低下、悲観的になる、不眠
顔面	あごの痛み、顔面蒼白（そうはく）、鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	突然言葉が出にくくなる、突然の嘔吐（おうと）、突然しゃべりにくくなる、歯ぐきの出血、喉のかゆみ、喉の痛み、吐き気、喉が渇く、水を多く飲む
胸部	動悸（どうき）、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み、胸を強く押さえつけられた感じ
腹部	下腹部の痛み、食欲不振
手・足	突然片側の手足が動かしにくくなる、左腕の痛み、手足が冷たくなる
皮膚	じんま疹、あおあざができる、皮膚が黄色くなる、全身のかゆみ
尿	尿の色が濃くなる、尿量が増える
その他	月経時以外の性器からの出血

【この薬の形は？】

剤形	点鼻液 
点鼻液の色	無色澄明

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ブセレリン酢酸塩
添加物	クエン酸水和物、クエン酸ナトリウム水和物、塩化ナトリウム、ベンザルコニウム塩化物液

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・使用後は、オーバーキャップをしめて保管してください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<https://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：0120-956-792

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）